

大会名 Competition	第21回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-113	Year Month Day Time 2008 年 5 月 5 日 12 : 00
場所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B															
能代工業	<table border="1"> <tr><td>31</td><td>1st</td><td>11</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>26</td><td>3rd</td><td>20</td></tr> <tr><td>27</td><td>4th</td><td>23</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	31	1st	11	13	2nd	13	26	3rd	20	27	4th	23		OT		新潟商
31	1st	11															
13	2nd	13															
26	3rd	20															
27	4th	23															
	OT																
97 ○		67 ●															

主審:Referee
東 祐二 東京都
副審:Umpire
小川 裕之 秋田県

テーブル・オフィシャルズ:Table officials
角館高等学校

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	高橋 陽	CAP	6	1	1	1	1	4	×	榎坂 健人	CAP	13	1	3	4	4
5	×	武藤 修平		8	0	4	0	3	5	×	近藤 大		3	0	1	1	4
6	×	館山 健太		26	3	6	5	2	6	×	山崎 将也		17	2	4	3	1
7	/	飯田 啓人		3	0	0	3	1	7	/	五十嵐 良心		4	0	2	0	3
8	×	伊藤 伸高		5	1	0	2	2	8	×	小野寺 弘晃		5	0	2	1	1
9	×	湊 大樹		8	0	2	4	2	9	/	田村 亮		10	0	4	2	2
10	/	藤田 洸		2	0	0	2	3	10	/	小林 裕太郎		0	0	0	0	0
11	/	小川 昌志		2	0	1	0	1	11	/	中村 博		2	0	0	2	2
12	/	宮城 大喜		9	0	4	1	1	12	×	新保 寛人		10	2	2	0	5
13	/	熊坂 兼		2	0	0	2	2	13	/	佐藤 寛人		0	0	0	0	0
14	/	佐藤 文哉		4	0	0	4	2	14	/	亀山 亮		0	0	0	0	0
15	/	西島 宏哉		4	0	2	0	2	15	/	萩野 晃平		0	0	0	0	1
16	/	亀山 悟史		5	0	2	1	0	16	/	岩淵 俊紀		1	0	0	1	1
17	/	三上 翔平		2	0	1	0	1	17	/	安保 睦		2	0	1	0	2
18	/	伊藤 雄太		11	0	4	3	2	18	/	村越 俊紀		0	0	0	0	1
コーチ		佐藤 信長							コーチ		中屋 廣昭						
Aコーチ		安保 敏明							Aコーチ		丹波 浩之						
合計				97	5	27	28	25	合計				67	5	19	14	27

※×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q出だし、能代工、新潟商ともにハーフマンツーマンディフェンスでスタート。能代工#6館山の3Pで先制する。その後、両校とも外のシュートで攻めるが入らず、得点のない状態が続く。残り7分過ぎ、能代工は#4高橋がバスケットカウントからのフリースロー、3Pを連続して決め、9-0と試合の主導権を握る。対する新潟商は残り5分40秒で#8小野寺が速攻を決め、ようやく初ゴールとなった。その後も能代工は#6館山、#5武藤がドライブや速攻で得点を重ねる。新潟商は残り4分30秒にオールコートマンツーマンディフェンスに変えるも、能代工はフリースロー等で順調に得点を重ねる。結局、新潟商は#4榎坂#12新保が3Pを決めるものの、31-11と能代工大量リードで第1Qを終える。

第2Q、能代工は選手を入れ替えながらのスタート。やや動きが硬く、ミスも出てなかなか得点に結びつかない。その間に新潟商は#12新保の速攻や#8小野寺の外からのシュート、#6山崎の3Pが決まり、反撃を開始する。しかしその後は両校ともシュートを決められず、ロースコアの展開となる。能代工は#12宮城が速攻や力強いドライブを決める。第2Qは13-13で終え44-24と能代工リードで前半終了。

第3Qに入って、能代工はメンバーをスタートに戻す。#6館山がドライブや3Pを決め、試合の流れを渡さない。新潟商も必死のディフェンスで食らいついていくものの、ファウルがかさみ、フリースローでも差を広げられる展開。結局、第3Qは70-44で終了。

第4Qになっても流れは変わらず、能代工は全員を出場させる余裕を見せ、控えのメンバーものびのびとプレーした。最後は能代工が97-67と大差で勝利した。